

名古屋北部民商ニュース

名古屋北部民主商工会
〒462-0035 北区大野町3-19
TEL (052)915-8111
FAX (052)915-8114
E-mail jimukyoku@hokubuminsho.st1.jp

高すぎる国保料を下げるため、県として財政措置を

愛知県の経済を支えている中小業者に支援を

9月3日（水）午後2時から、愛知県交渉が行われ、県下の16民商から33名が参加しました。県からは、中小企業金融課主査、財務部税務課徴収グループ主査、健康医務部国保課国保財政グループ課長補佐など6名が参加。服部会長と中小企業金融課主査のあいさつのあと、まず、「高すぎる国保料の実態」について津島民商と知多北部民商の事務局が発言。知多北部民商の久永事務局長は、「東海市は、県内で一番高く、200万円の所得の人で21.4%の国保料。大府市では15.5%と5%も開きがある。子育て世代は、制服代などお金がかかり生活を切り詰めている」と発言。それに対し、県は「国の方針で県で保険料を統一することになっているので、完全統一となると小さい市町村は跳ね上がってしまう。令和8年からはこどもの均等割がさらに軽減される」と回答。しかし、医療費が増え、県統一なので仕方ないと言う内容で、苦しんでいる県民の心情に寄り添うものとは思えませんでした。次に、税金の徴収強化の実態について3人が発言。日進市の女性は、「帳簿の付け方も分からない中、平成23年に税務調査になり、追徴課税が出たが、夫が病気になり、なかなか払えず、国税は執行停止に。市税は整理機構扱いとなり、月20万ずつの納付を求められ、できなければ差押えするの一点張り。なんとか6万持って行っても、あとの14万はいつ払うんだと責められ、泣いて



要望書を渡す服部愛商連会長（右）

相談しても取り合ってくれない。夫は本当は入院しなければならないが、我慢して働いている」と窮状を訴えました。北部民商事務局は、名古屋市の特別滞納整理課の実態を話しました。また、重点要求として、中小業者への直接支援を求め、トヨタ関連の業者や、物価高、経費高騰で4月に廃業したすし店の女性などから、切実な実態が語られました。また、江南市の支援金が、「行政が身近になった」と業者から歓迎されていることを語り、ぜひ県として市町村に財政支援を、と訴えました。最後に、同席した日本共産党のしもおく県議から「滞納整理機構などの厳しい実態が語られた。県内の経済を支えている中小業者を財政的に支援する方法を、県として考えていくことが必要。一緒に頑張りたい」と話されました。



愛商連青年部のウエルカム企画 VISONバスツアー

（三重県にある日本最大の商業リゾート）

全青協50周年を記念して「VISON（ビソン）バスツアー」が企画されました。

*木のスプーンづくりとイタリアンレストランでの食事、交流

日時 10月19日（日）

<集合時間・場所>

朝8時20分

金山新橋南交差点（ドコモショップ金山店側）

<参加費>大人4000円、

中学生以下1000円

（大人は北部民商から半額補助）申込は民商へ

まわりの業者を紹介してください

名古屋北部民商では、「毎月退会を上回る拡大を」「持続可能な民商、相談したくなる民商」を目指し、秋の運動に取り組みます。今回は、拡大のポイントで支部対抗とします。

9月から11月まで、「読者、会員、共済会、婦人部、青年部の拡大で各1ポイント」「支部で署名50筆で1ポイント」

1位 3万円 2位 2万円 3位 1万円
4位から7位 5千円の顕彰金を支部へ

*署名は「消費税5%に引き下げインボイス廃止を求める請願」「インボイス廃止、2割特例、8割控除の継続を求める請願」